

一般質問

第2回定例会・本会議 (6月21日、22日、25日)

発言項目

◎発言順に掲載。太字は下で紹介している質問を含みます。

八條範彦

(自民党・市民クラブ・安佐南区)

全米市長会議年次総会への出席の成果

ユニタールの活動

SDGsへの取り組み

基町地区のまちづくりとサッカースタジアム建設

子育て支援

公立保育園の使用済みオムツの持ち帰り

平野太祐

(自民党・保守クラブ・西区)

都心の活性化

MICE施設の整備

学生のまち広島づくり

小学校・中学校の特別支援学級

道路

定野和広

(市政改革ネットワーク・西区)

西広島ハイパス高架延伸事業

骨髄移植への支援

都市型スポーツの振興

犯罪被害者支援

再犯防止の取り組み

碓氷芳雄

(公明党・安佐南区)

広島市の平和行政における基本姿勢

折り鶴の再生・循環プロジェクトと修学旅行生の誘致

広島市の街づくりと都市農業

食品衛生法改正に伴う食品衛生管理手法HACCP(ハサップ)の義務化

骨髄ドナーへの支援

通学路及び学校施設の安全対策

近松里子

(日本共産党・中区)

核兵器廃絶に向けて

かき船

高齢者公共交通機関利用助成

SDGsの取り組みについて



八條 範彦 自民党・市民クラブ

子育て支援について

問 市が世界に誇れる「まち」の実現を目指すのであれば、世界共通認識として設定された開発目標SDGsを認識した上で、施策に取り組みしていく必要があると思うがどうか。

答 本市においても、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現へ向けた取り組みや、省エネルギー対策、再生可能エネルギーの導入促進による地球温暖化防止の取り組みなど、SDGsの実現に資する取り組みを一部分野で行ってきている。今後、研修等を通じて職員にSDGsの考え方を周知し、本市の取り組みを通じて市民や地元企業にSDGsの周知、浸透を図っていきたい。

問 保育園の運営には園児一人ひとりが当たり、約9万5千円の公費が投じられているが、在宅で子育てされる家庭への支援をする考えは有るのか。

答 保育園・幼稚園において、園庭開放、育児講座などを行うとともに、子育て中の親子が身近な場所で相談・交流できるよう、常設オープンスペースを設置している。また、保育園等で一時的に子どもを預かる一時預かり事業や、保護者の急な用事に対応するためのファミリー・サポート・センター事業を実施している。

広島市の都心に活性化を



平野 太祐 自民党・保守クラブ

問 紙屋町・八丁堀地区の活性化のために、具体的なまちづくりの構図を市が主体となつて描き、早急に具体的な基本方針を策定、行動を起こしていくべきだと思いが、どのように考えるか。

問 広島市ではMICE施設が必要と考えられているのか、また、規模はどういうものかを考えられているのか。

答 都市再生緊急整備地域制度を活用すべく、そのための地域指定に向けて、国と所要の調整を行っている。当該地域の指定に合わせて策定する地域整備方針に沿って、再開発事業等を具体化しようとする民間事業者も支援が受けられるようにするとともに、必要な助言が行えるような窓口を設置するなどし、都心の活性化を図っていききたい。

答 MICEの開催は、都市機能の充実・強化が、都市の競争力向上に繋がり、周辺地域への経済効果を生み出すことから、本市に必要な施設であると考える。施設の規模については、広島広域都市圏の発展も視野に入れたうえで行うべきであるため、地元関係者の意見を踏まえ検討していきたい。

高架延伸再開はいつ？



定野 和広 市政改革ネットワーク

骨髄ドナー助成を望む

問 市の拠点性、中枢性の発揮に西広島バイパス高架の都心部延伸は不可欠だ。この重要事業再開時期の具体的な目標をどう考えているのか。

問 骨髄バンクのドナー登録を後押しするため、入院や検査の経済的負担軽減を図るドナー助成制度が必要と考えるが、具体的な検討はどうか。

答 沿線の社会福祉協議会や町内会など57の地域団体から、高架道路の早期全線開通を求める要望書が国や市議会、本市に対して提出された。こうした地元の熱い想いを国への要望で伝えるとともに、国土交通大臣より示された「国や市、関係機関の検討の場」の設置に向けて事務的な詰めを急ぐ。国の来年度予算に当該事業の再開に係る予算が盛り込まれるよう、引き続き全力で取り組む。

答 今年度県が創設した「骨髄ドナー助成補助金交付制度」は、ドナーの経済的負担の軽減、ドナー辞退件数の減少、新規ドナー登録の促進につながる取り組みである。本市は、本年4月に県から通知を受け、同制度の創設を念頭に置き、同制度の詳細や他都市の制度等について調査・研究を行っている。

市街化区域の農業を守ろう！



碓氷 芳雄 公明党

問 市街化区域の農地について国が「あるべきもの」と考え方を変えた今、都市計画や農政など関係部署が連携し、生産緑地制度についての内容も含めた取り組みを進めるべきだと思いが、どうか。

答 市街化区域については、農地が市民への新鮮野菜の供給の場や市民が自然に触れることのできる憩いの場となるほか、防災機能等の重要な役割を担っていることから、その保全を視野に入れ、「農」と共生したゆとりある良好な住宅地の形成を図るという方針に沿って都市計画を進めていく。また、生産緑地制度を含めた農地活用についての研究にしっかりと取り組む。

問 広島を訪れる修学旅行生に折り鶴の再生紙で折った折り鶴を持参してもらおう「折り鶴の再生・循環プロジェクト」は意義のある取り組みだと思いが、修学旅行誘致の中で、広島ならではのメニューとして紹介してはどうか。

答 被爆の実相や被爆体験を次代を担う若い世代に継承し、平和意識の醸成を図るため、全国の学校へ修学旅行誘致活動を推進している。今後、学校訪問の際に、このプロジェクトを紹介していきたいと考えている。

子どもの貧困をなくせ



近松 里子 日本共産党

基町住宅に介護施設を

問 市として子どもにかかわる施策を貧困と格差をなくす視点で見直し、具体的な目標を設けて、計画をたてるべきだが、どうか。

問 市は、「広島市子ども・子育て支援事業計画」において、「子どもの貧困の問題に対する総合的な施策の推進」を重点施策として掲げ、子どもとその保護者に対し、教育の支援、生活の支援、就労の支援などに関するさまざまな施策を展開している。当計画については、今年度から、次期計画策定作業を行っており、ご指摘の目標設定を含めて、検討を進める。

問 子どもの貧困の問題に対する総合的な施策の推進」を重点施策として掲げ、子どもとその保護者に対し、教育の支援、生活の支援、就労の支援などに関するさまざまな施策を展開している。当計画については、今年度から、次期計画策定作業を行っており、ご指摘の目標設定を含めて、検討を進める。

答 身近な場所で泊まりのできる介護施設が整備されることは、地区の高齢者の方々が地域で安心して暮らせることにつながるものと考えられる。住民説明会では、基町地区のまちづくりの取り組みの一つとして、宿泊型の福祉・介護施設の整備を推進する旨の説明をしており、今後基町住宅地区活性化計画の改定等をする際に、住民の意見を伺い、具体化を図っていききたい。

女性の活躍を進めよう



山内 正晃 市民連合

問 市の女性職員の採用割合は、2017年度で46.1%と高まっており、仕事と子育てを両立しながら働ける環境を整えるなど、市として、女性職員の活躍に向けた取り組みの充実が必要だと思いが、どのように進めていくのか。

問 障がい者雇用における法定雇用率が2018年4月1日から地方公共団体では2.3から2.5へと引き上げられた。市も障がい者雇用の、採用枠の拡大を進めていただきたいと思いが、どうか。

答 女性職員が育児等を行いながら業務に従事できるような、柔軟な働き方が可能な環境を整える必要があると考える。子の送迎等のために、時間休等を取らせざるを得ない職員が多くなることから、現在1日単位の利用としているテレワークを1時間単位で利用できるような見直し、よりフレキシブルな勤務が可能となるようにしたい。

答 市では、単に障害のある職員の退職に伴う欠員を補充するという考えではなく、毎年、身体障害者を対象とした採用試験を実施して一定数の採用を確保しており、法定雇用率を上回るよう、今後も引き続き障害者の採用に積極的に取り組む。